

平成25年度 事業計画

全国的に観光客が伸び悩む中、官民一体となって誘致事業を実施した結果、平成24年度下呂温泉宿泊客は100万人を維持することができました。しかしながらまだまだ低単価競争など下呂温泉を取り巻く環境は厳しく、先行き不安な要素が多々あり、安倍政権の経済の復活にあわせて、元気な下呂温泉をアピールして参ります。また、引き続き、官民一体となって地域の活性化に向けた一層の取り組みを実施して参ります。

誘致宣伝委員会では、観光データーの分析を行い、各方面からの入込状況の調整を進めて参ります。誘致事業においては、本年度もラジオ、テレビなどを活用した広告宣伝を行い、関東地方をはじめ、東海・北陸・関西・中国・九州方面に至るまでの広範囲にわたったキャラバンを実施します。また多様化するニーズに応えるため、観光事業に精通した案内人（ガイド）を育成し、観光コーディネーターとしての役割を担う人材を育成して参ります。パブリシティでの情報発信、各地での観光物産展など積極的に実施致します。

下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市コンベンションビューロー、ふるさと文化財団などとの連携を強化し、経済の活性化、雇用の拡大を図る事業を進め、下呂交流会館「アクティブ」を中心に、「MICE」によるコンベンションを活用して効果的な誘致活動を進めます。

交流研修委員会では、下呂市の観光資源を地域の関係者がまだあまり知っていないのが現状です。旅館の従業員などを対象にした下呂市の観光資源視察研修を行なって参ります。

また、温泉地づくり、街づくりの研修を行なって参ります。本年度は、平成25年4月25日に草津温泉でオープンした外湯「御座之湯」を視察調査研究をして参ります。草津では、外湯は街づくりの一環であり、平成26年春にはそぞろ歩きができる湯路広場、平成27年春には草津名物の「湯もみ」を披露している「熱の湯」がリニューアルオープンされることとなっています。

まちづくり委員会では、交流研修委員会と共同で温泉地づくり、街づくりの視察、調査、研究を行って参ります。また環境整備事業として植樹・清掃活動などを行い、連泊できる魅力ある観光地づくりを目指し、おもてなしの心の向上を図って参ります。

おもてなし委員会では、下呂温泉に訪れたお客様に満足していただけるよう、おもてなしの心で、お客様の目線に立って各イベントを行なって参ります。

下呂市観光協会連絡協議会では、市内各地域との一層の連携と行動、協働作業により豊富な観光資源を連携させ、更なる魅力アップに努めて参ります。

その他、富加・関インターからの県道アクセス、41号線雨量規制緩和、リニア中央新幹線までのアクセスの向上、河川及び景観の整備、安全確保のための基盤整備、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発、北陸新幹線を含めた高山本線の有効的な活用など関係機関へ働きかけを行って参ります。

また、外国人誘客のための招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進めて参ります。

下呂温泉年間宿泊者数が130万人に到達するための数値目標を定め、常に現状を見極めながら、日本の宝である下呂温泉の更なる発展と雇用の確保、地域の活性化を目指して参ります。関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い致します。